

ア. 学修時間・学修実態 (学修行動調査・留学率)

ア-1 学修行動調査結果

令和6年度の学修行動調査については、前期と後期に分けて実施

ー前期調査結果ー

I 方法

1. 調査日 令和6年6月21日～7月19日(前期)
2. 調査方法 webclassによる無記名調査
3. 実施方法 対面およびリマインドメールでも調査協力を呼びかけて実施
4. 調査内容
 - 1) 学修行動の自己評価 33項目
 - 5段階選択肢(とてもそう思う、ややそう思う、どちらでもない、そう思わない、全く思わない)
 - 2) 自己学修時間数
 - 自己学修時間：授業の予習・復習や国家試験対策など授業時間以外の学修時間1週間のうち自己学修した日数
 - 1週間のうち最も多かった自己学修時間
 - 1週間のうち最も少なかった自己学修時間
 - 0～30分未満、30～60分未満、60～90分未満、90～120分未満、120～240分未満、240～360分未満、その他(実数)
5. 分析方法
 - 学修時間の計算：選択肢の中央値で数値化し、最小と最大の平均を1日平均自己学修時間数(分)とした。1週間のうち学修した日数を乗じ、1週間平均自己学修時間数(時間)とした。
 - 学修行動総合得点：逆転項目に配慮し、学修態度や認識が望ましいと高くなるよう1～5点を配点し、合計を総合得点とした。R3年の調査に合わせ、「授業を聴きながらノートをとることができない」を除いた32項目(32～160点)の合計とした。
 - 1) 1週間平均自己学修時間数を、全校、学年別に年度間で比較した。
 - 2) 学修行動調査は、全校の総合得点を年度間で比較した。

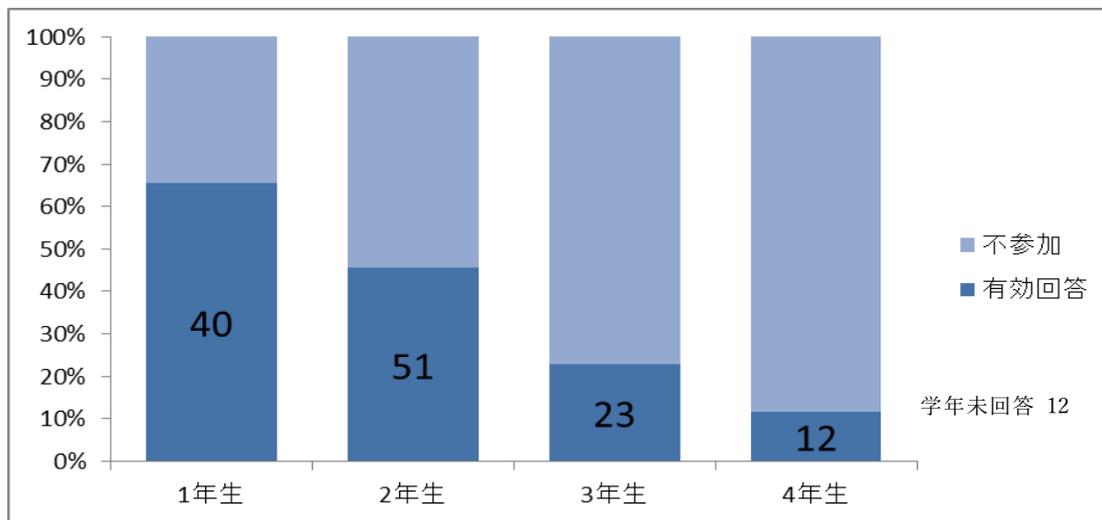
II. 結果

1. 回答の状況

対象者 375 名（休学者除く） 回答数 138 名（回収率：36.8% 前年度比 49.7%）

有効回答数 126 名（有効回答率：33.6% 前年度比 47.9%）

図1 回答率



2. 自己学修時間

図2 1週間平均自己学修時間（全校）年度間比較

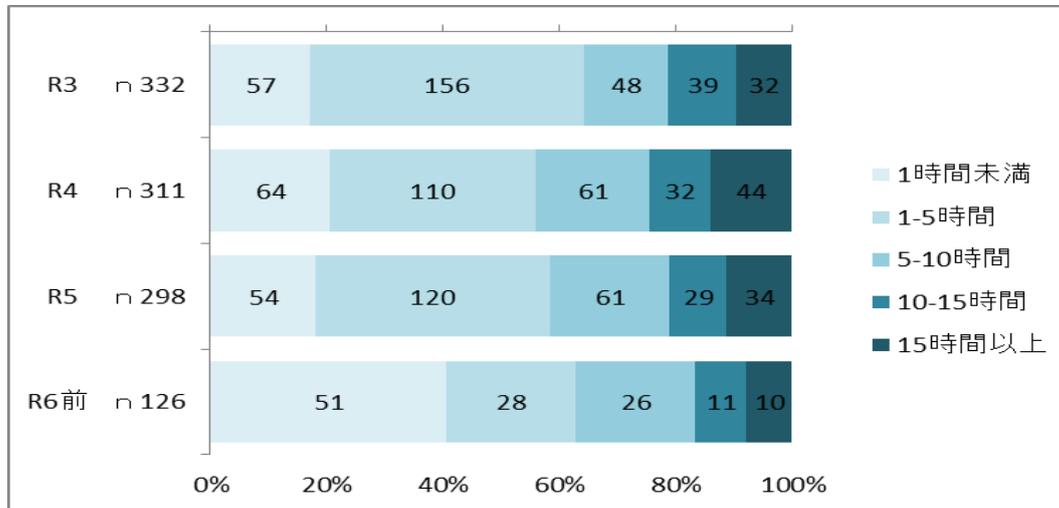
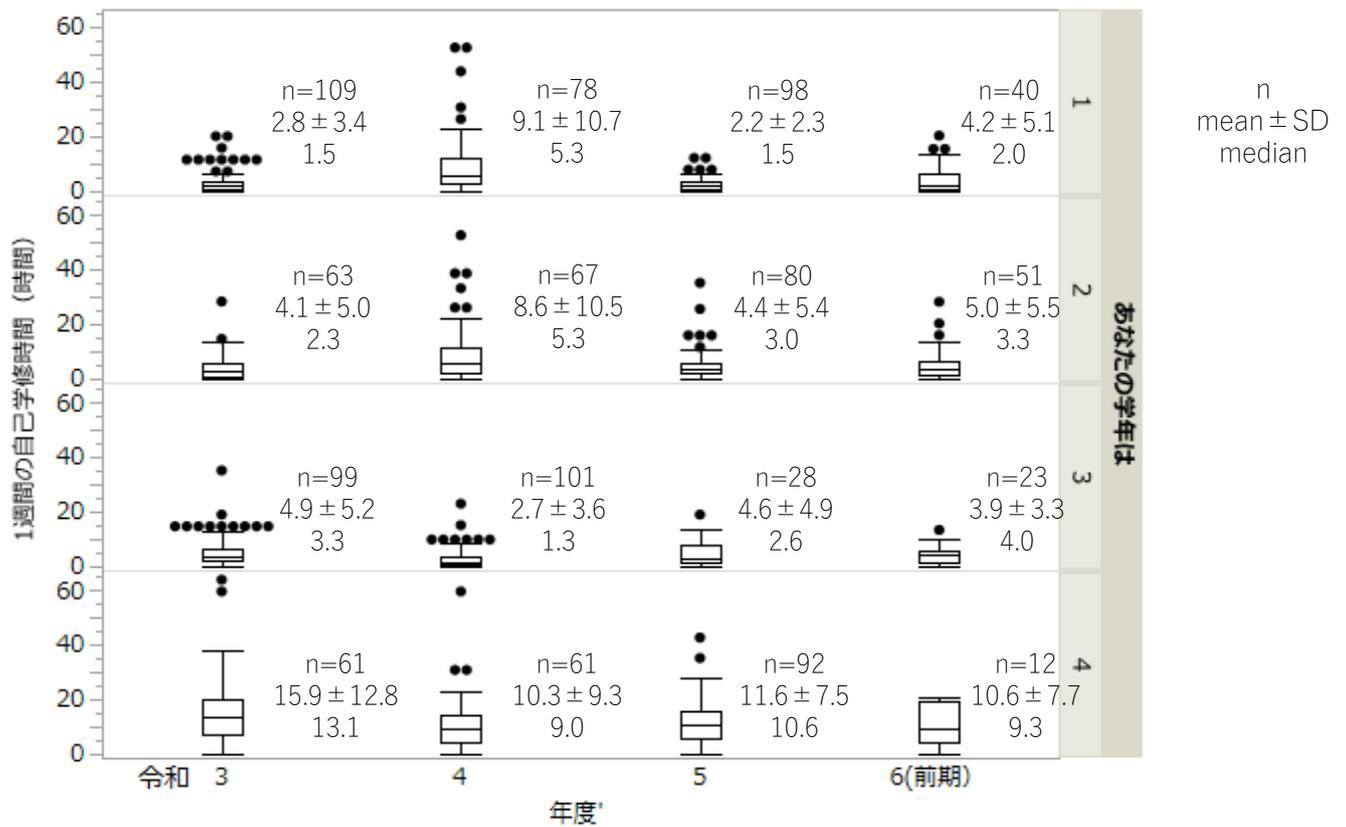


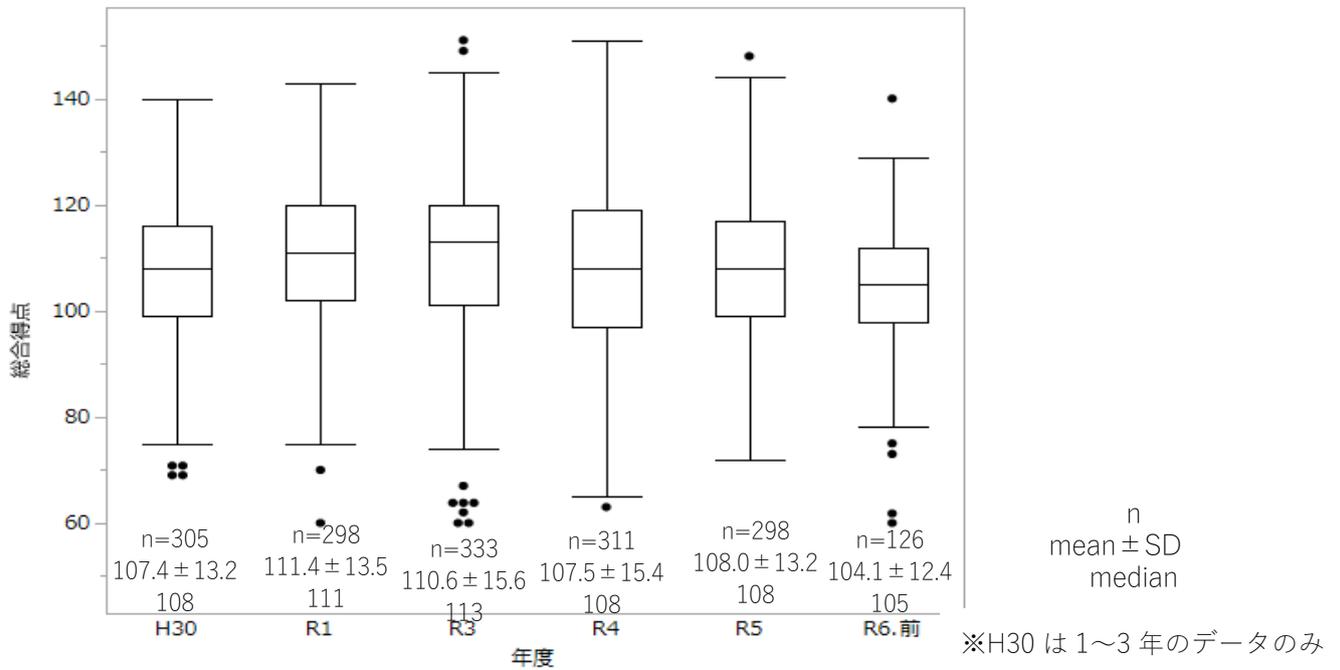
図3 1週間平均自己学修時間（学年）年度間比較



4年生は国家試験対策のため、学年の中では長い傾向にある。今回は前期の調査であり、また、回答数が極端に低いことから偏りが生じている可能性はある（図3）。

3. 学修行動

図4 学修行動総合得点（全校）年度間比較



※学修行動得点は、点数が高いほうが望ましい学修態度や行動がとれていることを示す。

－後期調査結果－

I 方法

1. 調査日 令和6年9月30日～10月23日（3年生のみ12月23日～24日）
2. 調査方法 webclassによる無記名調査
3. 実施方法 対面およびメールで調査協力を呼びかけて実施
4. 調査内容

1) 自己学修時間数

自己学修時間：授業の予習・復習や国家試験対策など授業時間以外の学修時間

1週間のうち自己学修した日数

1週間のうち最も多かった自己学修時間

1週間のうち最も少なかった自己学修時間

0～30分未満、30～60分未満、60～90分未満、90～120分未満、120～240分未満、240～360分未満、その他（実数）

2) 学修行動：5段階評価とし、逆転項目は学修態度や認識が望ましいと高くなるよう1～5点を配点

5. 分析方法

学修時間の計算：選択肢の中央値で数値化し、最小と最大の平均を1日平均自己学修時間数（分）とした。

1週間のうち学修した日数を乗じ、1週間平均自己学修時間数（時間）とした。

学修時間区分：全国調査に合わせて、1週間平均自己学修時間数を1時間未満、1～5時間、5～10時間、10～15時間、15時間以上に区分した。

- 1) 1週間平均自己学修時間区分を、年度間、学年別に比較した。
- 2) 令和6年度1週間平均自己学修時間区分を、学年別に前期と後期で比較した。

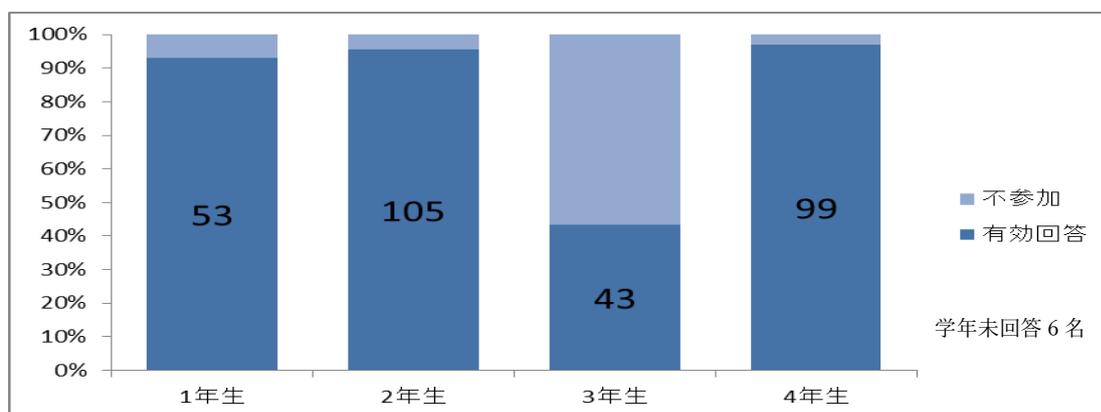
II 結果

1. 回答の状況

対象者368名（休学者除く） 回答数306名（回収率：83.1%）

有効回答数300名（有効回答率：81.5%）

図1 学年別回答率



2. 自己学修時間

図2 1週間平均自己学修時間（全校）年度間比較

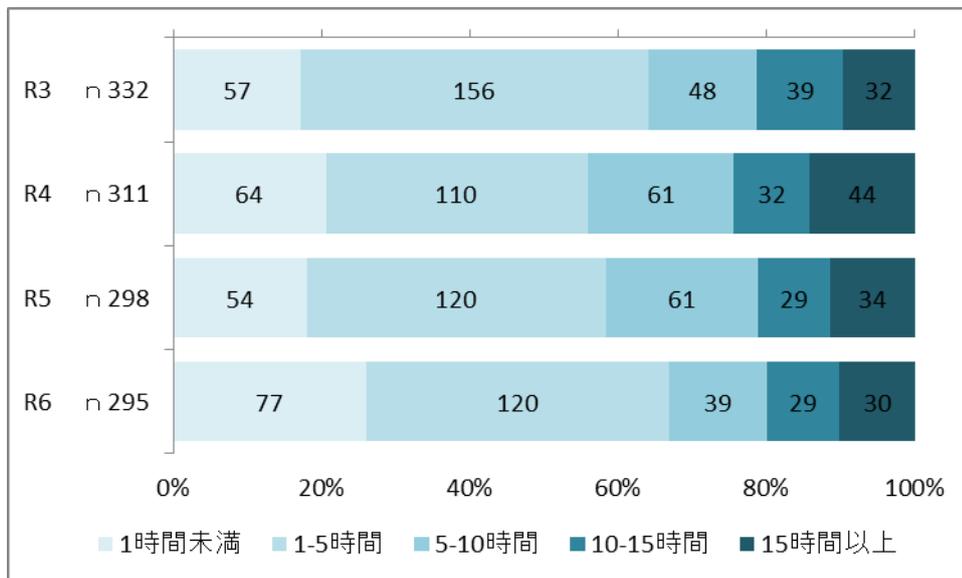


図3 1週間平均自己学修時間 学年比較

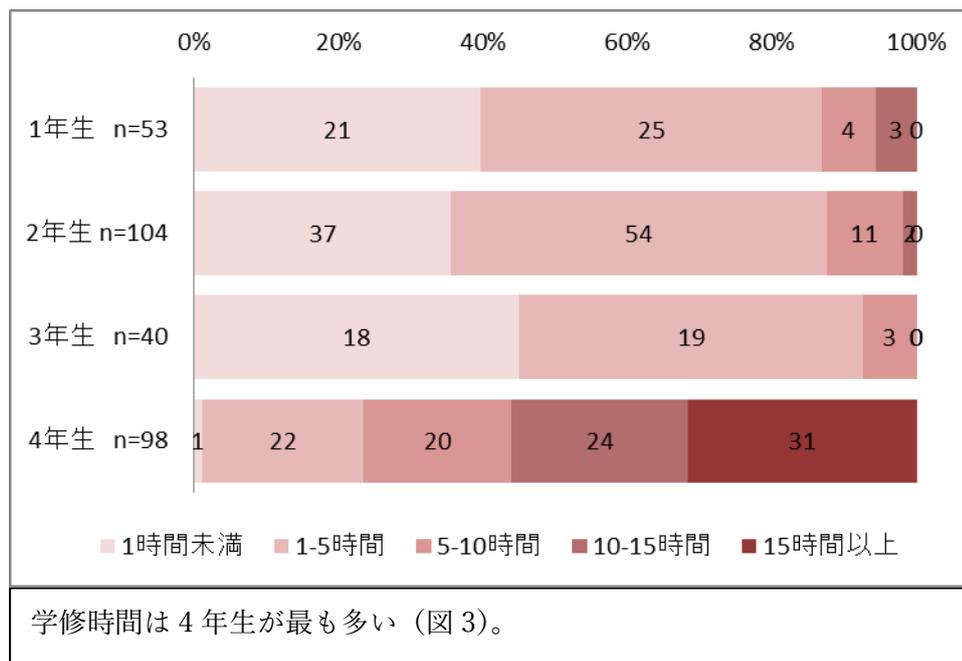
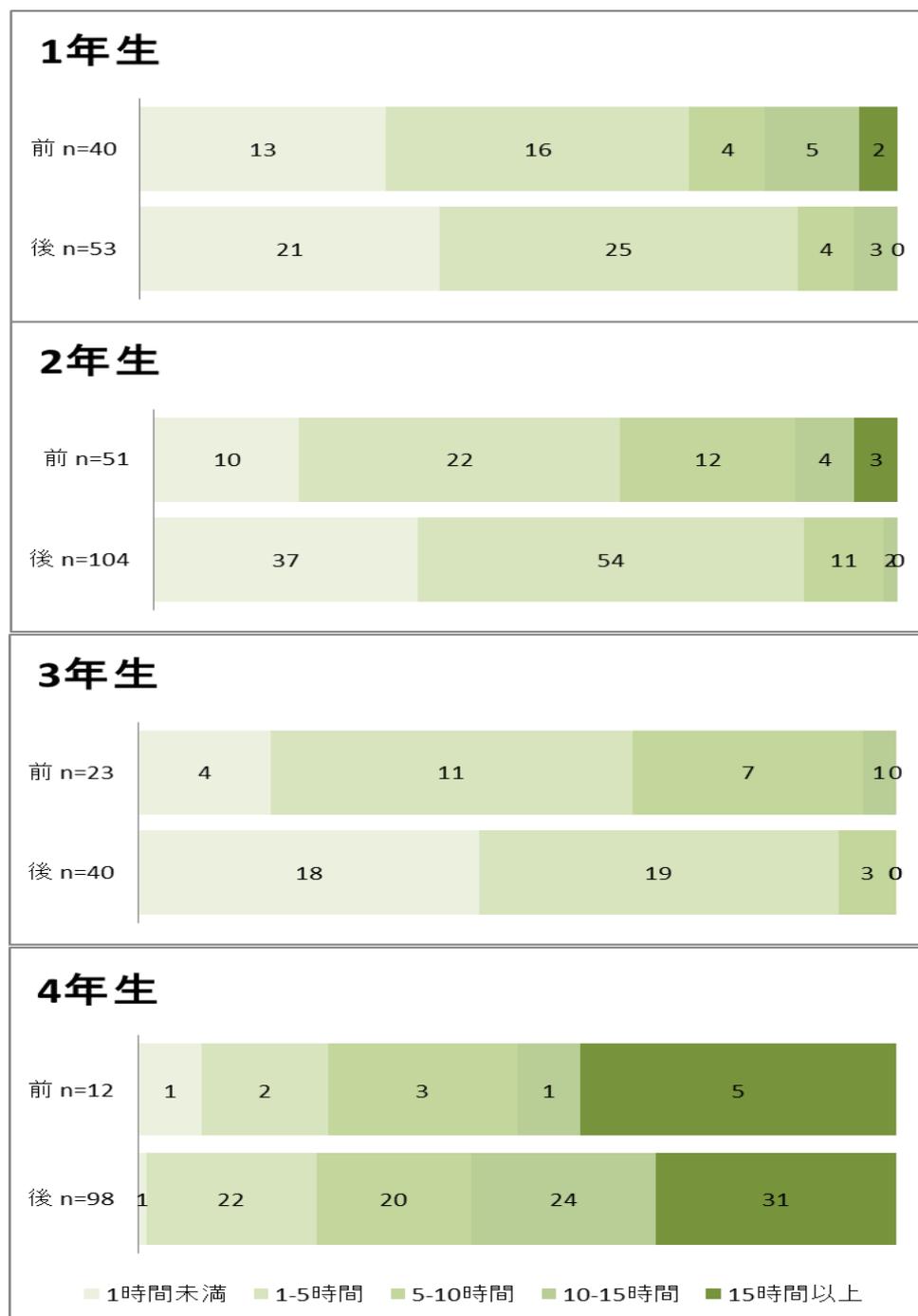


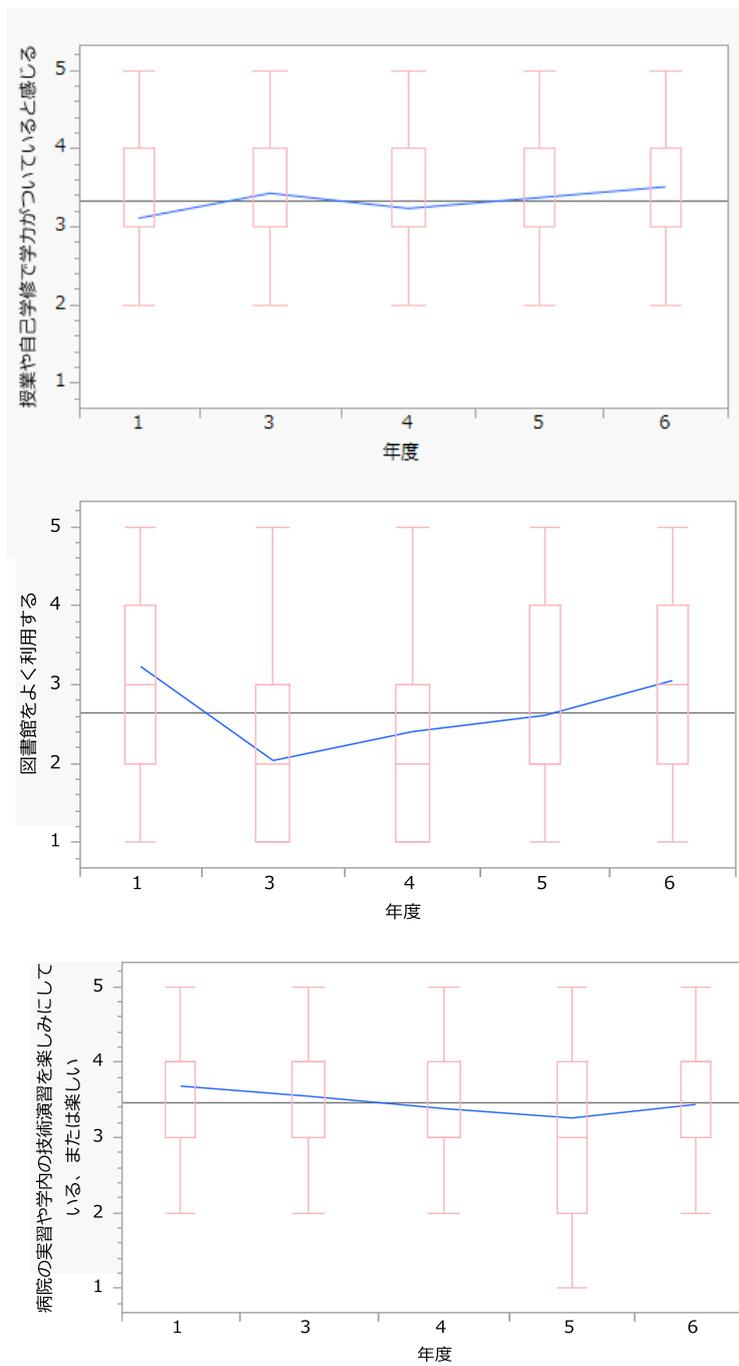
図4 1週間平均自己学修時間 前期と後期の比較（各学年）

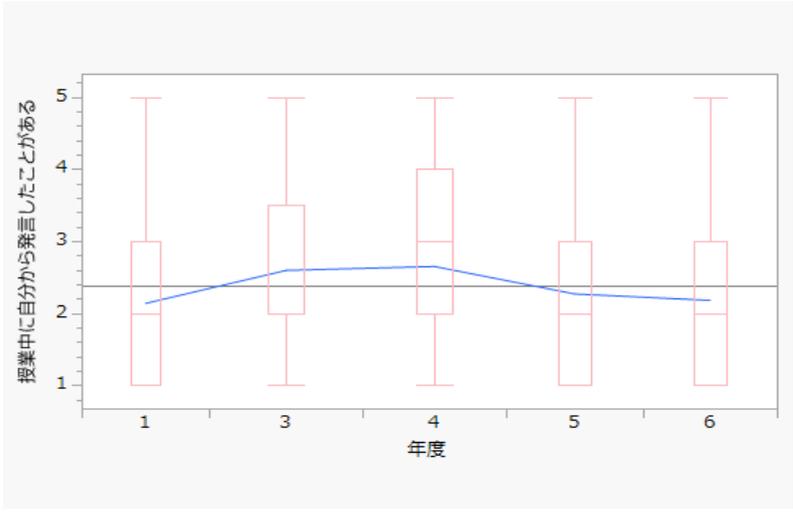
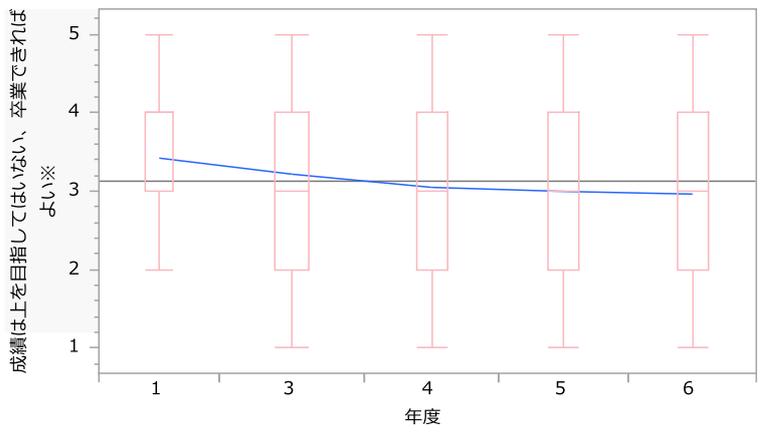
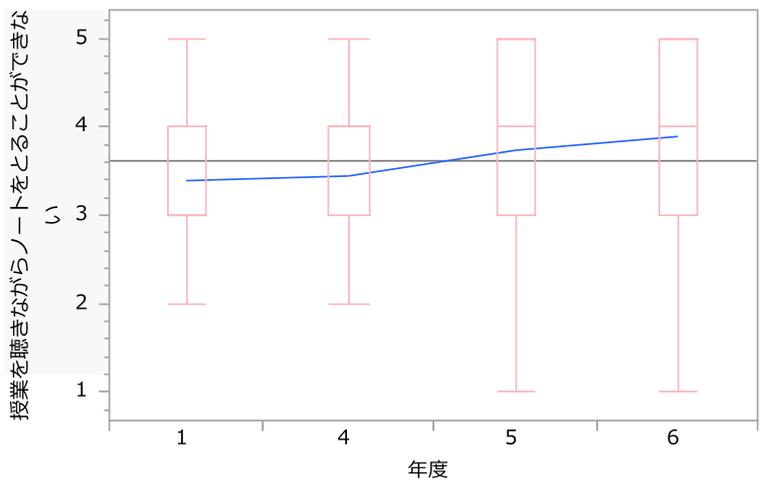


学年別に前期と後期を比較すると、前期の回答数が少ないこともあるが、いずれも後期に学修時間が減少している（図4）。

3. 学修行動（点数が高いほど望ましい学修行動や認識を示す）

図5 学修行動の年度変化（33項目中、大きな変化がある項目を抜粋）





ア-2 留学率

年度	留学者数 (留学率)
令和7年度前期	該当なし (0%)
令和6年度	該当なし (0%)
令和5年度	該当なし (0%)

イ. 授業評価アンケート結果

本学では、教育内容・教育方法の改善を目的に全科目について学生による授業評価アンケートを実施しています。アンケートは12の質問項目から構成され、今回、科目の総合評価である「本講義に対する総合評価はどうでしたか」に対する集計結果（令和六年度調査；看護学部集計分）を公表（表1）します。

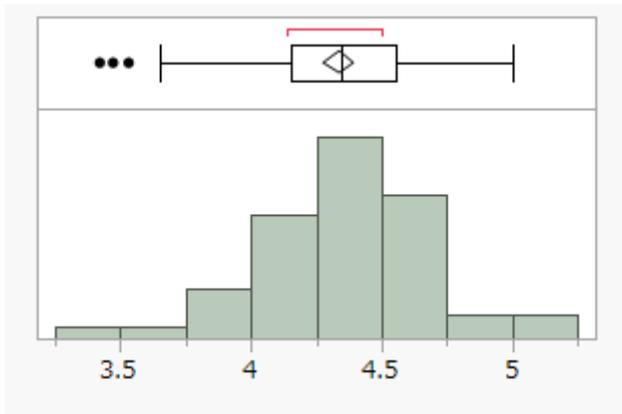
令和五年度の総合評価結果（表2：平均値4.36、中央値4.37）と比較し（令和六年度実績：平均値4.34、中央値4.34）、ほぼ同程度の結果となりました。また、評価4は「よい」を意味しており、平均・中央値とも4「よい」を超える結果となりました。

各科目単位の結果を科目責任者に返却し、その結果を踏まえ「考察と課題」を科目責任者が提出することで授業改善に繋げていきます。

（表1）

『本講義に対する総合評価はどうでしたか』に対する全科目（実習科目を除く）の集計結果（令和六年度）

5. 非常に優れている 4. よい 3. 普通 2. やや劣る 1. よくない

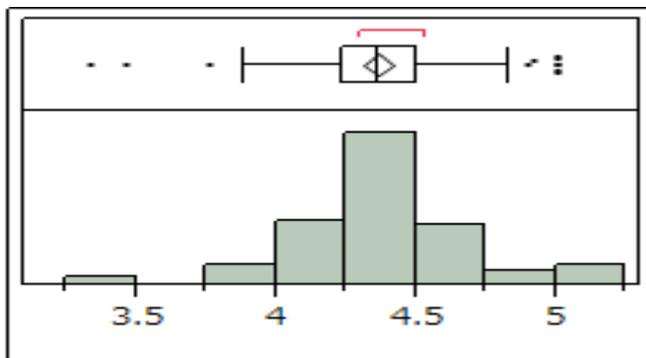


科目数	109
平均	4.34
標準偏差	0.32
中央値	4.34
範囲	3.42- 5.00

（表2）

『本講義に対する総合評価はどうでしたか』に対する全科目（実習科目を除く）の集計結果（令和五年度）

5. 非常に優れている 4. よい 3. 普通 2. やや劣る 1. よくない



科目数	110
平均	4.36
標準偏差	0.29
中央値	4.37
範囲	3.33- 5.00

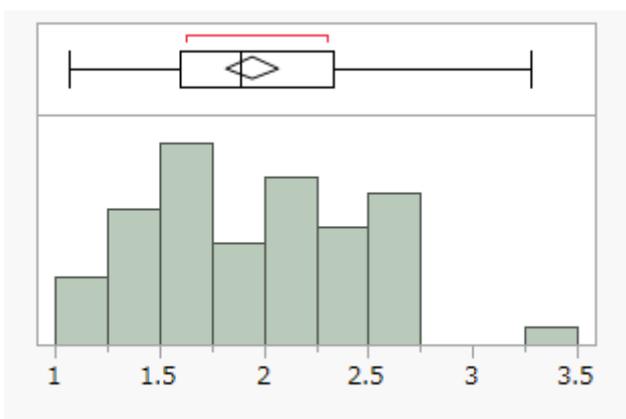
ウ 学修成果

ウー1 学内試験結果：GPA分布

本学では、学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と適切な学修指導に資することを目的に、各授業科目の成績評価に対応してグレード・ポイント（「GP」）を付与して計算する1単位当たりのGPの平均値（GPA）を採用しています。本学では、通常の5段階評価（10点区切り）に基づく計算でなく、より厳格な数値の算出が可能となるように1点単位でのGPAを計算しています。（例：78点のGPは $(78-55) \div 10 = 2.3$ ）

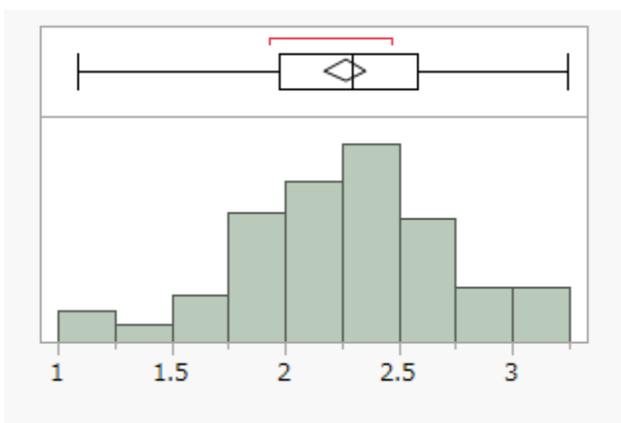
以下に、令和六年度に各学年（看護学部）が履修した必修科目のGPAの分布状況を示します。なお、各学年により履修科目が異なるため、学年ごとの学力状況を比較するデータではありません。

令和六年度1年生GPA分布（1年次必修科目）



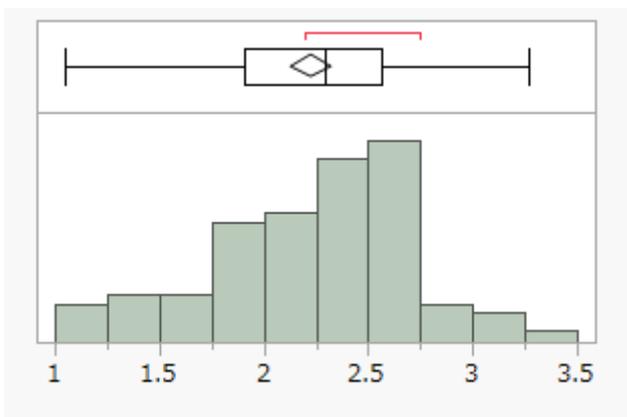
最大値	3.3
四分位点	2.3
中央値	1.9
四分位点	1.6
最小値	1.1

令和六年度2年生GPA分布（2年次必修科目）



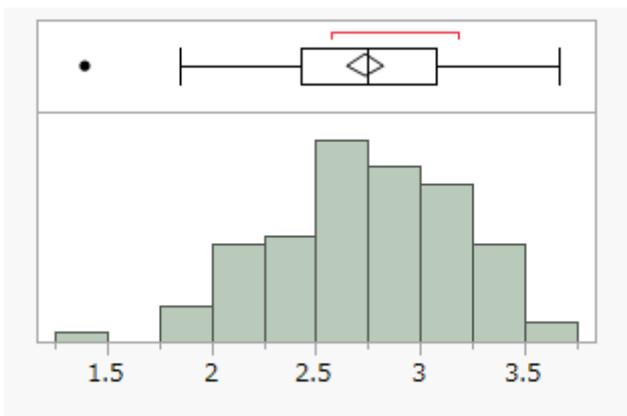
最大値	3.2
四分位点	2.6
中央値	2.3
四分位点	2.0
最小値	1.1

令和六年度3年生GPA分布（3年次必修科目）



最大値	3.3
四分位点	2.6
中央値	2.3
四分位点	1.9
最小値	1.0

令和六年度4年生GPA分布（3年後期～4年次科目必修科目）



最大値	3.7
四分位点	3.1
中央値	2.7
四分位点	2.4
最小値	1.4

※参考：

令和五年度（中央値：学部1年 2.2、学部2年 2.3、学部3年 2.3、学部4年 2.7）

ウー2 単位修得状況

令和6年度における各学年の必修科目、選択・自由科目の平均取得単位数は以下の表のとおりです。

本学では、教育課程を体系的に学ぶことを目的に、必修科目については、全科目について履修すべき年次を指定しているため、原則として学生間に差は生じません。

選択科目については、配当年次の関係上1年次での履修が多く、自由科目については、コース履修(=保健師・国際看護・グローバルスタディーズ)による単位修得が多くを占めています。保健師コースは3・4年次に21単位(旧カリキュラム履修者は16単位)、国際看護コースは3・4年次に3単位以上、グローバルスタディーズコースは1～3年次に5単位以上の自由科目を履修します。

<各学年での平均取得単位数> 令和6年度

学年／履修区分	必修科目	選択・自由科目 (最小値～最大値)	合計
看護学科1年	37	10 (8～12)	47
看護学科2年	37	1 (0～5)	38
看護学科3年	35	1 (0～6)	36
看護学科4年	24	2 (0～14)	26

※ 上記は進級者(4年次については卒業認定者)の年間取得単位数の平均値

※ 1～3年次は新カリキュラム、4年次は旧カリキュラム

※ 複数学年にわたる科目:旧カリキュラムにおける「看護研究Ⅱ」、各論実習の単位数は、4年次に計上。新カリキュラムにおける「看護研究Ⅱ」の単位数は、次年度、4年次に計上。

※ 小数点第1位を四捨五入

【参考:令和5年度実績】

学年／履修区分	必修科目	選択・自由科目 (最小値～最大値)	合計
看護学科1年	37	10 (7～13)	47
看護学科2年	37	1 (0～6)	38
看護学科3年	20	1 (0～6)	21
看護学科4年	24	3 (0～17)	27

※ 上記は進級者(4年次については卒業認定者)の年間取得単位数の平均値

※ 1・2年次は新カリキュラム、3・4年次は新カリキュラム

- ※ 2年次については、旧カリキュラム履修者（21期生）を除いて計上
- ※ 3年次～4年次にわたる科目（各論実習・看護研究Ⅱ）の単位数は4年次に計上
- ※ 小数点第1位を四捨五入

ウー3 到達度自己評価

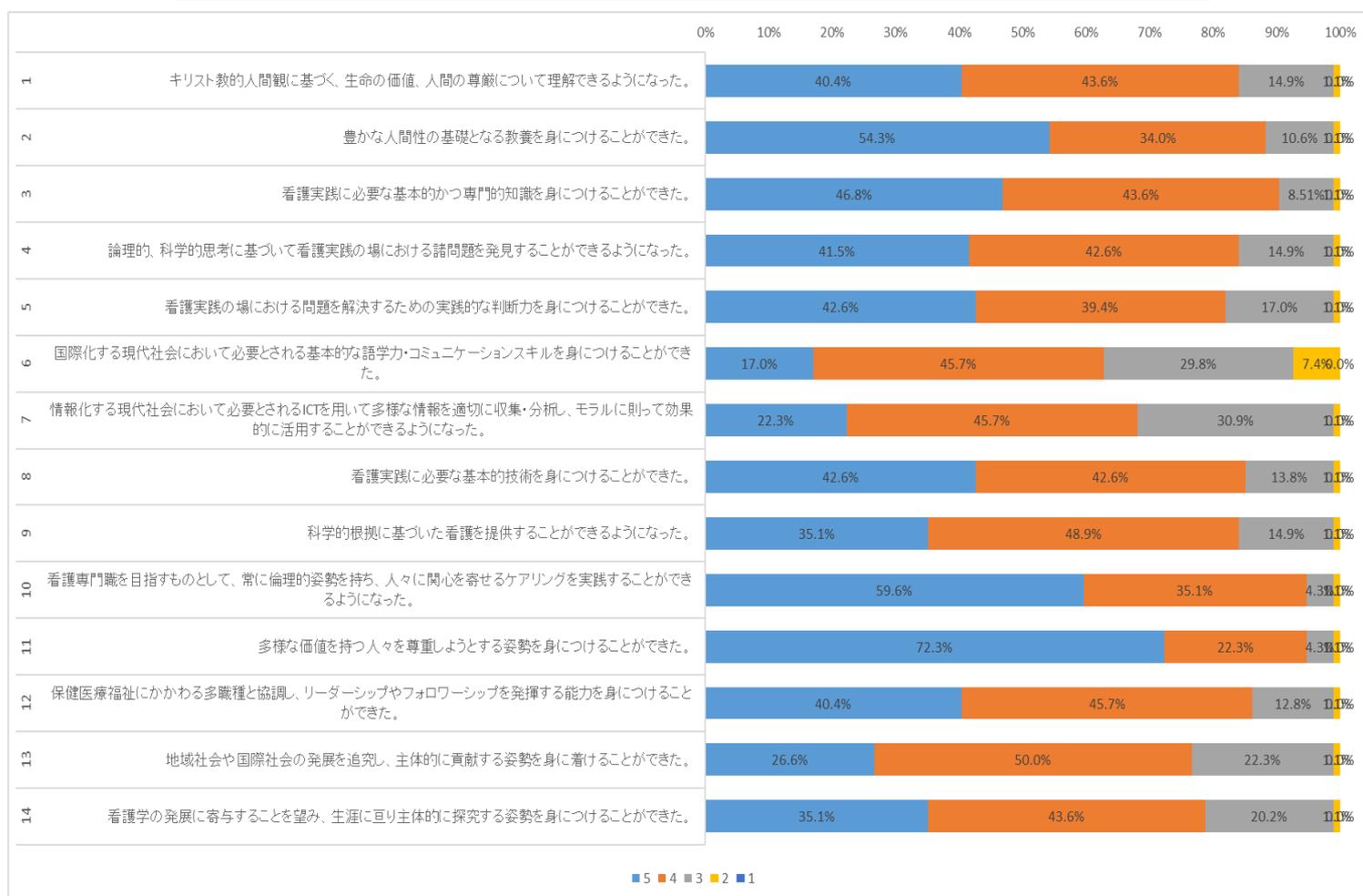
看護学部4年生に対し、自身の4年間の学びを振り返り、到達目標への達成度を自己評価するアンケートを実施しています。

令和6年度結果についてはグラフに示すとおりです。令和6年度アンケート結果の特徴として、すべての到達目標において、92%以上の学生が「あてはまる」と回答しており、特に1、2、3、4、5、8、9、10、11、12番目の項目において、80%以上の学生が「非常に当てはまる」、「かなり当てはまる」との回答でした。

この中で「非常に当てはまる」と最も多く回答されていたのは(72.34%)、11「多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけることができた。」でした。

本結果で示された到達目標ごとの到達度を踏まえ、更なる教育・学生支援の向上に努めてまいります。

質問内容	5	4	3	2	1	未記入	合計
1 キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解できるようになった。	38 40.43%	41 43.62%	14 14.89%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
2 豊かな人間性の基礎となる教養を身につけることができた。	51 54.26%	32 34.04%	10 10.64%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
3 看護実践に必要な基本的かつ専門的知識を身につけることができた。	44 46.81%	41 43.62%	8 8.51%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
4 論理的、科学的思考に基づいて看護実践の場における諸問題を発見することができるようになった。	39 41.49%	40 42.55%	14 14.89%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
5 看護実践の場における問題を解決するための実践的な判断力を身につけることができた。	40 42.55%	37 39.36%	16 17.02%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
6 国際化する現代社会において必要とされる基本的な語学力・コミュニケーションスキルを身につけることができた。	16 17.02%	43 45.74%	28 29.79%	7 7.45%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
7 情報化する現代社会において必要とされるICTを用いて多様な情報を適切に収集・分析し、モラルに則って効果的に活用することができるようになった。	21 22.34%	43 45.74%	29 30.85%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
8 看護実践に必要な基本的技術を身につけることができた。	40 42.55%	40 42.55%	13 13.83%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
9 科学的根拠に基づいた看護を提供することができるようになった。	33 35.11%	46 48.94%	14 14.89%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
10 看護専門職を目指すものとして、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングを実践することができるようになった。	56 59.57%	33 35.11%	4 4.26%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
11 多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけることができた。	68 72.34%	21 22.34%	4 4.26%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
12 保健医療福祉にかかわる多職種と協調し、リーダーシップやフォローシップを発揮する能力を身につけることができた。	38 40.43%	43 45.74%	12 12.77%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
13 地域社会や国際社会の発展を追究し、主体的に貢献する姿勢を身につけることができた。	25 26.60%	47 50.00%	21 22.34%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%
14 看護学の発展に寄与することを望み、生涯に亘り主体的に探究する姿勢を身につけることができた。	33 35.11%	41 43.62%	19 20.21%	1 1.06%	0 0.00%	0 0.00%	94(件) 100.00%

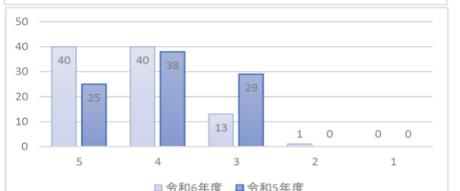
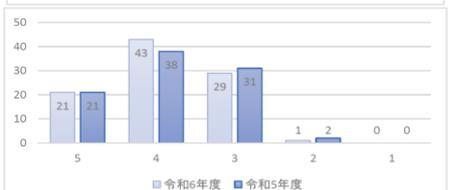
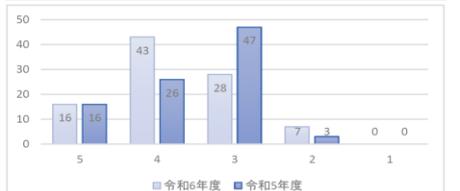
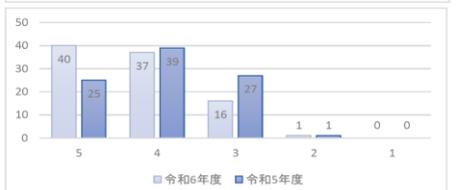
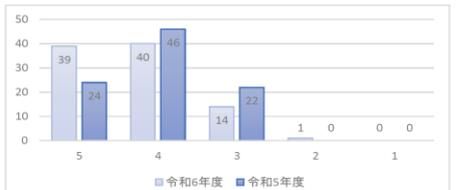
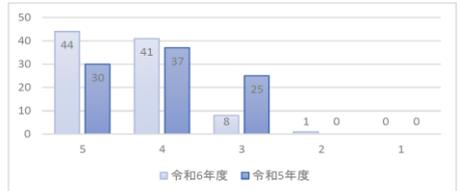
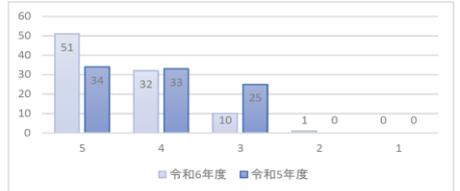
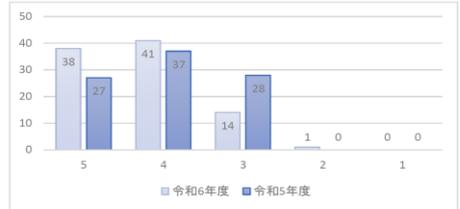


卒業時の到達目標達成度アンケート調査結果

(回答率：令和6年度92.2%、令和5年度85.9%)

5：非常に当てはまる 4：かなり当てはまる 3：大体当てはまる
2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない

No.	到達目標	選択肢							合計
		5	4	3	2	1	未記入	合計	
1	キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解できるようになった。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	38	41	14	1	0		94(件)
		40.4%	43.6%	14.9%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	27	37	28	0	0		92(件)
		29.3%	40.2%	30.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
2	豊かな人間性の基礎となる教養を身につけることができた。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	51	32	10	1	0		94(件)
		54.3%	34.0%	10.6%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	34	33	25	0	0		92(件)
		37.0%	35.9%	27.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
3	看護実践に必要な基本的かつ専門的知識を身につけることができた。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	44	41	8	1	0		94(件)
		46.8%	43.6%	8.5%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	30	37	25	0	0		92(件)
		32.6%	40.2%	27.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
4	論理的、科学的思考に基づいて看護実践の場における諸問題を発見することができるようになった。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	39	40	14	1	0		94(件)
		41.5%	42.6%	14.9%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	24	46	22	0	0		92(件)
		26.1%	50.0%	23.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
5	看護実践の場における問題を解決するための実践的な判断力を身につけることができた。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	40	37	16	1	0		94(件)
		42.6%	39.4%	17.0%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	25	39	27	1	0		92(件)
		27.2%	42.4%	29.3%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
6	国際化する現代社会において必要とされる基本的な語学力・コミュニケーションスキルを身につけることができた。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	16	43	28	7	0		94(件)
		17.0%	45.7%	29.8%	7.4%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	16	26	47	3	0		92(件)
		17.4%	28.3%	51.1%	3.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
7	情報化する現代社会において必要とされるICTを用いて多様な情報を適切に収集・分析し、モラルに則って効果的に活用することができるようになった。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	21	43	29	1	0		94(件)
		22.3%	45.7%	30.9%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	21	38	31	2	0		92(件)
		22.8%	41.3%	33.7%	2.2%	0.0%	0.0%	100.0%	
8	看護実践に必要な基本的技術を身につけることができた。	選択肢	5	4	3	2	1	未記入	合計
		令和6年度(2025.3月)卒業生	40	40	13	1	0		94(件)
		42.6%	42.6%	13.8%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度(2024.3月)卒業生	25	38	29	0	0		92(件)
		27.2%	41.3%	31.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	



9	科学的根拠に基づいた看護を提供することができるようになった。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	33	46	14	1	0	0	94(件)	
			35.1%	48.9%	14.9%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	26	35	31	0	0	0	92(件)	
		28.3%	38.0%	33.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
10	看護専門職を目指すものとして、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングを実践することができるようになった。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	56	33	4	1	0	0	94(件)	
			59.6%	35.1%	4.3%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	38	36	18	0	0	0	92(件)	
		41.3%	39.1%	19.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
11	多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけることができた。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	68	21	4	1	0	0	94(件)	
			72.3%	22.3%	4.3%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	42	32	18	0	0	0	92(件)	
		45.7%	34.8%	19.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
12	保健医療福祉にかかわる多職種と協調し、リーダーシップやフォローシップを発揮する能力を身につけることができた。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	38	43	12	1	0	0	94(件)	
			40.4%	45.7%	12.8%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	29	34	28	1	0	0	92(件)	
		31.5%	37.0%	30.4%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%		
13	地域社会や国際社会の発展を追究し、主体的に貢献する姿勢を身につけることができた。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	25	47	21	1	0	0	94(件)	
			26.6%	50.0%	22.3%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	20	34	34	4	0	0	92(件)	
		21.7%	37.0%	37.0%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%		
14	看護学の発展に寄与することを望み、生涯に亘り主体的に探究する姿勢を身につけることができた。	選択肢 回答年度	5	4	3	2	1	未記入	合計	
		令和6年度 (2025.3月) 卒業生	33	41	19	1	0	0	94(件)	
			35.1%	43.6%	20.2%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
		令和5年度 (2024.3月) 卒業生	24	38	30	0	0	0	92(件)	
		26.1%	41.3%	32.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

ウー4 学位（看護学）取得状況

令和6年度学位授与者：102名

（令和5年度学位授与者：107名）